

### 県無形民俗文化財

| 指定名称    | 指定年月日       | 主たる保護団体    | 伝承地        |
|---------|-------------|------------|------------|
| ①白岩ささら  | 昭和39年11月17日 | 白岩若者会      | 角館町白岩前郷    |
| ②戸沢ささら  | 昭和39年11月17日 | 戸沢ささら芸能振興会 | 西木町上松木内字戸沢 |
| ③下川原ささら | 昭和46年12月18日 | 下川原ささら保存会  | 角館町下川原     |

由来と歴史 (平成16年度 ふるさと文化再興事業 伝統文化総合支援研究報告書より)

#### ①白岩ささら

1602(慶長7)年佐竹公がお国替えの時、行列の先頭が悪疫退散のために、木製の楽器を振りながら歩いた。それ



が佐竹家中の土から伝授されたものに、その後、農村の獅子踊りが加わったと伝えられている。水戸系ささら。白岩では渡辺伝蔵に命じてささら舞がはじめられ、また棒遣いは伝五郎に伝授された。

また、地区にはささら巻物と称する由緒書も保存されていて、昔悪病が流行ったので、貴僧や神官に祈祷させたが効き目が無く困っていた時、支那の僧が「蚩尤の一念のたたりと思う」と進言し、ここに初めて鬼神の形を作り太鼓を打ち鳴らし笛を吹き、大勢が行列を揃えてこれらの災厄を払ったのに始まると記されている。

#### ②戸沢ささら

1602(慶長7)年佐竹義宣当地に転封のとき伝来されたと言われて



いる。また、南部雫石から宝仙台を経て戸沢に伝えられ、関東系のものが影響して伝承されたとの説もある。さらに、「ある長者の若勢(若者)が山に行って昼寝をした時、獅子の舞うのを夢にみて、それに教えられた」という口伝がある。

③下川原ささら (由来は白岩ささらと同じ) 地域に残る記録によると、当時角館の北側に佐竹北家家臣団が居を定めた。一方南東の田町には、今宮氏の家臣団田町衆(修験集団)が住み、ささらを摺っていたという。その頃、組頭は松本六左衛門であった。

1787(天明7)年佐竹北家の家臣・戸沢五右衛門という武士より下川原部落有志、長四郎、松之助、万右衛門の3人の代表者に巻物、秘伝書、行列図を附して田町衆から伝授された。

### 市無形民俗文化財

| 指定名称    | 指定年月日       | 主たる保護団体      | 伝承地        |
|---------|-------------|--------------|------------|
| ①広久内ささら | 平成4年12月4日   | 広久内ささら保存会    | 角館町広久内後村   |
| ②堂野口ささら | 平成4年12月4日   | 堂野口ささら若者会    | 角館町白岩堂野口   |
| ③梅沢ささら  | 昭和54年10月31日 | 梅沢ささら保存会     | 田沢湖梅沢字森腰   |
| ④小山田ささら | 昭和58年4月1日   | 小山田ささら保存会    | 西木町小山田字堀之内 |
| ⑤西根ささら  | 平成16年11月19日 | 西根ささら伝統芸能保存会 | 西木町松木内字長戸呂 |



②堂野口ささら



④小山田ささら



⑤西根ささら